

みうらトーク&トーク 平成 29 年度第 4 回

日 時

平成 30 年 2 月 21 日(月)

10 時～11 時

参加者

三浦市子育てサークル 14 人

テーマ

三浦市の子育て施策について

<意見交換・概要>



市長

はじめてお目にかかった人もたくさんいらっしゃいますけど、どうぞよろしくお願いしたいと思います。市の政策として市民の皆さまと直接対話をするような機会をつくらうということで、このトーク&トークという機会を設けています。直接市民の皆さまと対話をして、政策に反映させていこうということでやらせていただいております。今三浦市では子どもを安心して生み育てられる街を目指しています。そんな中で、市役所の職員や教育委員会の職員が保護者の皆さまとも接していますが、私もこういった機会がなかなか作れないものですから、今日はお時間をいただいて、直接お話を伺って、どういった方向性がいいのかというのを、市役所の中でも整理して、これから取り組みたいと思うので、ぜひ今日はいろいろな忌憚のないご意見をいただければと思いますので、できるできないはあろうことかと思いますが、いい方向性を見出して、三浦市の子育てに反映し、皆さんの力になればと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

今日はお手元に資料があると思いますが、情報がなかなかうまく伝わっていないということがあろうかと思うので、三浦市役所の保健福祉部の子ども課というところが子育ての窓口として1つになっていますので、子育て施策の概略について説明をします。

子ども課長

今日お手元に配布させていただきました資料は、平成 30 年度に初めて取り組む事業ですとか、今までより拡充させていただく事業など、どんなことをやっているのかという情報を知っていただきたく、お配りさせていただきました。

まず「子育て世代包括支援事業」をご説明します。いろいろな市ですでに始めていますが、妊娠をしてから出産・子育てと大変な時期があるんですが、身近な相談

窓口という新たな枠組みをつくろうということで、平成 30 年度に開設することになっています。場所は市役所分館の 2 階の子ども課隣接のスペースを有効利用させていただき、助産師を配置し子育て全般の相談に対応します。また機会を通じて宣伝していきますので、今日はそんなことをやるということ知っていただければと思います。

次に保育園ですが、国の基準という待機児童はゼロになっています。市内 4 つの園があるので、そのすべてを希望した場合、どこかには入れる状態が続いています。ただ、1 つの園だけ希望されて、結果的に待っていただくことはあるという状況です。これも、保育園の皆さんに協力をしてもらいながら、継続していこうとしています。

「保育、教育環境充実事業」は、ふるさと納税の中で、子どもたちに使ってくださいという寄付をたくさんいただきましたので、来年市内の 4 つの保育園、3 つの幼稚園に防犯カメラや遊具の購入を補助する取り組みも実施するようになっていきます。

今日はまだ乳幼児の皆さんですけど、今後小学生になって、必要に応じて放課後の子どもたちの生活も心配になってくるかと思いますが、日中留守家庭児童の放課後の生活の場となる学童クラブは市内に 4 つありますけれど、そこにも補助をさせていただいています。

最後に、中学生を対象に胃がん等の疾患の発症を防ぐためにピロリ菌対策事業を実施しています。この事業は神奈川県内では三浦市が唯一実施しています。

いろいろな取り組みをしながら、お母さん方の意見も伺って、今後の施策に反映させていきたいと思っていますので、ご意見等ありましたらいつでも子ども課に連絡いただければと思います。お母さん方も日ごろから子ども課の保健師を中心にいろいろな触れ合いがあると思うんですが、引き続きよろしくお願いいたします。

市長

三浦市は保健師さんの力に頼っているというのかな、相談機能を強化しようということで、きめ細やかな相談ですとか。子ども課にもいろんな子育ての施策があるんですけど、学校に上がれば給食が出るなんていうのは今は当たり前ですけど、県内でも中学校の給食を始めようという動きが横須賀ですとか、大きな都市も中学校の完全給食を目指すとか。三浦市は私が子供のころ、昭和 50 年代から中学校の給食ってやっているんですね。そういった意味ではきちんと継続ができています。

今、子育て賃貸住宅というのを検討しております。南下浦市民センターの建て替えと併せてあそこに。20〜30 の世帯数で、子育てをしている間に入っていて、子どもが生まれてから最長でも 15 年くらいを。一生ではなく、子育てを支援するための住宅です。実現に向けて取り組んでいますので、紹介させていただきました。

みなさんは例えば困ったときに市役所へ相談とかはしていないですか。例えば場所が使えないとか、備品を使いたいとか。そんな時はどうされていますか。

市民 子ども課の担当の方にご連絡して調整していただいていたいました。親切に対応していただいています。

市長 話が飛んでしましますが、今三浦市の大きな課題というのは、市内の産婦人科で出産ができなくなってしまったんです。みなさんはお子さんがいらっしゃいますが、次のお子さんの出産なんて時に大変だと思うんです。三浦市の市立病院でもお産の施設はあるんですよ。でも医師がいなくて、再開のめどが立っていない状況なんですけど、なんとか市内でのお産の再開を目指そうという話をしているんですけど、いろいろ課題もあってなかなか再開できないのが今の現状なんです。

それってイメージは良くないと私は思うんです。実家が三浦にあって、お子さんを産みに一回帰ってくるというときに不便ですよ。我々もこれから市内でお産ができるような環境づくりに取り組んでまいりますので、もしご相談を受けたときには子ども課が窓口になりますので、ご友人にもお伝えしていただければと思います。

今子どもたちの子育ての活動をしている中で、困っていることや要望など、日ごろから感じることはありますか。

市民 たくさんあります。私は結婚を機に三浦へ引っ越してきたんですが、すごく三浦が大好きなんです。いろんな海岸があって、畑も森もあって、子育てするには最高の場所だなと思って。子どもが小さくて一緒にいるうちはそこにある自然だけでよかったんですけど、少し子どもが育ってきて、自分たちの足でどこかに遊びに行くときに、そういった場所、公園などがなかったり。今の現状は近くの会館に行くしかない。車で公園に行っても遊具がなかったり、もう少し子どもたちが子どもたちだけで遊びに行ける場所が欲しい。

あとは、本が読みたくてもそれぞれの図書館が小さくて読みたい本もなくて、横須賀市まで車で行くこともある。市内の本屋さんが閉店してしまったのも死活問題です。子どもたちの学びの場が少なくて、もう少し充実していただけると嬉しい。環境は本当に素晴らしいのでそこだけは是非。

市民 公園の遊具が壊れているところもある。

市長 公園の遊具はやっぱり財政的な問題が前に来ちゃうんだけど、子育て支援の一環で今年からいよいよスタートすることになりました。自分たちの身の回りの遊具が壊れているというのは、すぐに市役所にご相談いただいて、チェックを入れますので、順次整備はしていきます。それを全くやっていないということではないので。優先順位なんかもあるので、お話しておいてくださるのが第一です。それを市の方で承って、それを順次改修していったり、財源の手当てもしていますので、これか

ら徐々に進めていきたいと思っております。ただ、公園自体を増やすということはなかなか難しいと思うので、公園の整備などに関しては基本的には地域で管理していただく仕組みにしているんです。そこで遊具が壊れているとか、ここが危ないなんていう意見をどんどんいただければと思います。市役所には公園担当もいますが、まずは子ども課に話をしていただければ。子どもの相談は全て子ども課が受けますので。場所なども教えていただければ。

市民 宮川公園とか。

市長 宮川公園は結構人も来るので、優先的に財源の手当てをすることにもなっていますので、すぐに直ると思います。

市民 あとは車を停められる公園が宮川公園の他にはなかなかない。車社会なので、どこに遊びに行くのにも車を走らせないとたどり着けないぐらい。
優先順位のことでですが、遊具より幼稚園・保育園の方が先ですか。

市長 そんなことはないです。バランスよくやるつもりです。

市民 ニーズがある所からお願いします。

市民 城ヶ島公園が大好きで活動場所でもよく使わせていただくのですが、無料だった駐車場が有料になってしまった。地元の公園に行くだけでお金がかかるのがネックになっています。駐車場が無料になるなどの地域住民向けのサービスがあれば嬉しいです。

市民 城ヶ島大橋の通行が有料なのもちょっと。

市長 東部漁港事務所という県の事務所があって、そこでメンテナンスなども多額の費用がかかるので、有料でずっときているんです。

城ヶ島は観光の核づくり事業というのを進めているんです。城ヶ島・三崎を国際観光都市にしようという動きを県と三浦市でしているんです。県知事もよくお見えになられたりして、城ヶ島の観光振興を島の人達を中心にやっているんです。そこで、一程度の効果があったら城ヶ島大橋を無料にするというのが長年の懸案だったんですが、やっと実現する手前まできていますので、期待をしていただければ。すぐには無理だが、このような動きをしていますので。

図書館の新着本のご要望については、教育部がお答えします。

教育部長 ぜひご利用いただいて、図書館にこういう本が欲しいという希望を出していただ

きたいです。もしかするとみなさまの今のお子さんには間に合わないかもしれないが、次のお子さまだったり次の世代のときにその声が届くと思いますので、ぜひお願いいたします。

市民

この前逗子の図書館に行ったときに、一日居られるくらいすごい素敵な図書館で、こういうのが三浦市にも、引橋あたりにあって、まとめてそこにあればいいと思う。雨の日に外で遊べなくても使うこともできるのではないのでしょうか。

市長

今三浦市に総合図書館計画というのがあるんです。それは、消防署の隣にベイシアってスーパーができて、その中に市民交流センターというものができます。そこには小さな会議室があったり、みなさんのようなサークルが使用できるような部屋がある、市民交流のスペースができるんです。それはもう準備されています。

今、三崎高校跡地のグラウンドの方を工事していますよね。あそこは道路面まで土が盛られて、小網代の森入口の交差点が整備され、そこが進入路になるんですね。校舎のあったところにスーパーができるんですけど、その下のグラウンドの所にいわゆる公共施設用地として市役所が移転する用地だとか、総合図書館を建てる用地を確保する準備を進めています。

逗子市は市役所の向かい側に立派な図書館や市民交流センターがあって、非常に有効的に使われていると思うんですね。三浦市と逗子市の違いというのがあって、三浦市は自然環境は良いかもしれないけど、身の丈に合った支出を心がけておりますので、そういった投資ができていないというのが現状にあるんですが、市民施設をあそこに集約しようという動きはありますので。

図書館構想というのは市の計画としてオープンにしていますので、民間のお力をお借りしたりっていうことになるかと思いますが、準備はさせてもらっています。本屋が閉まってしまったことは私も非常にショックです。

他にございますか。

市民

引橋の図書館構想の他に、雨の日に子どもが遊べるような、広い室内におもちゃや遊具があるような施設の構想はありますか。

市長

そのような構想は今は持っていないです。

市民

できれば雨の日に子どもが遊べるところが一か所でもあれば。

市民

雨の日だけじゃなくて、公園の遊具はある程度足腰がしっかりしてこないと遊べないんですよ。だから公園に行ってもボールかシャボン玉くらいでしか遊べなくて、もっともっと小さい子たちが遊べるようになるので、そういう所があると、小さい子どもたちも活動的に遊べたり、親同士の交流もできる場になるんじゃないか

な。

市民 二人の子どもを同時に、危ない遊具のある公園で見るのが凄く大変で、やっぱりクッションフロアーの遊び場があったら、お友達と声かけあって一緒に遊びに行ったりだとか、声かけなくてもそこに行けば誰かがいる場所があったらいいなとずっと思っていたので、ベイシアの中の交流センターにそういう部屋があればいいなと思います。

市民 わざわざ市役所に行ったり、電話とかをして話したいほどでもないけど、みんなが集まって毎日遊びに行けるような場所があって、そこに保健師さんなどがいて、遊びのついでに話せるような場所があれば、世間話のついでに子育ての悩みとか話せる場所があったらよかったなって思います。

自分も辛いと思っても、なかなか友達にも話せなかったり、わざわざ電話で相談するほどのことじゃなかったの、遊びに行ったついでに話すことができれば、心も軽くなるかなって思います。

市長 小羊保育園に子育て支援センターがありますがご意見などありますか。

市民 子育て支援センターは駐車場が有料化になってしまったし、数台しか停められないので、みんな行かなくなってしまった。あと食事が一切できないので、お弁当を持って行っても、一回外に出て食べてまた戻るなんてことをしたこともあります。

子どもを遊ばせるのは毎日のことなので、毎日のことにお金がかかってくると、小さな金額でも積み重なるとすごく家計も圧迫してしまうし、心情的にもちょっと避けてしまう。なので、駐車場も込みで子どもの支援を考えてほしいです。

市民 あとはやっぱり海がいっぱいあっても、しっかり見ていないと事故につながってしまうので遊ばせるところが限られているのが現状だと思います。結局誰かのお家に行っていることが多いです。

市民 それぞれの地区に会館があると思うんですが、数年前までは市の管轄だったんですかね。なんか補助が出たのか、小学校の放課後の時間帯に限られてたんですが、管理人の方が常駐していらっしゃって開けてくれていて、みんなそこに集まって遊んでいたんです。それが数年前から管理は区でやってくださいよってなったのか詳細は分からないんですが、管理人さんがいなくなってしまって、使えなくなってしまった。現在使っているのはごく限られた年配の方だけで、会合とかをやっている。子どもたちも今までそこにたくさんいたんですけど、今はいません。新しい何かを作ってもらいたいという希望ももちろんあるんですけど、既存のものも活用してほしいです。

市長 子どもたちが遊ぶ時間帯は、会館は使っていないかもしれません。夜に会合とかをやるぐらいじゃないかな。場所を使うことは無理じゃないと思います。

市民 市の方から補助などがあるのであれば、地域の協力を得てということになると思うが、そういう人がいてくだされば安心です。

市長 会館の利用は各地区に任せていることが多いので、ちょっと相談してみます。子どもたちを見てもらうっていうのはちょっと難しいかもしれないけど。

市民 ただ、数年前まではそれが行われていたんです。

市長 それは、児童会館という名称の、いわゆる児童福祉法に基づく会館があったんですけど、三浦市では廃止しちゃったんです。それで、各区に区民会館として、区のみなさんで使ってくださいっていう風に移管をしたんですね。無償で各地区へ譲渡したんです。

市民 じゃあそれを管理していくのは区なんですか。維持も大変だと思うんですけど。

市長 区で管理していくようお願いをしたんですけど、維持管理も含めてメンテナンスもして、各地区にお渡ししたんです。会館の利用を、もう少し子どもたちの視点を入れてくれっていうのは、市の方からも相談できますから。

例えば子育てのサークルの皆さんにカギをお渡しして、自主的に使ってもらって、最後にカギを返してもらっていうことは可能かもしれないけど、だれか人を当ててくれとかは難しいのではないかと思います。

市民 例えば人件費を払って人を置いてもらい、子どもが怪我しちゃったときにその人に責任がかかってくるとなるとすごく難しいと思うんですけど、責任の所在はその人にありませんと。子どもたちとおしゃべりがしたいお年寄り地域にたくさんいると思うんです。怪我をしないように見てほしいとかではなくて、子どもを見たいと思っているお年寄りの方が鍵を開けて、一緒にいてもらい、最後にカギを閉めてもらえる方を地域で募ったりとかも可能じゃないかなって思うんです。

市長 それは良いアイデアですね。

市民 それを区に丸投げでやってくださいって言っても、区の意見としてまとめて言っても、すぐに老人会の方々もやりましようとはならないんです。だから、狭い世界の中で活用されていないのが現状なんです。だから、市の方からも方向性を示した

り、ある程度の型を作ってほしいです。

市長 会館の有効活用ですね。場所によって地域の温度差はあるかもしれないけど、良いアイデアですね。

市民 お産の話なんですけど、子どもは助産院で生みたいと思っていて、一番近い助産院が横須賀で、家から 40 分近くかかるので、三浦市にも助産院があったらいいなと思っています。例えば陣痛が始まって 40 分かけて行っても収まったらまた戻ってこないといけないので負担も大きい。

産後ケアも横須賀市では助成金が出ているし、やっぱり自分が生んだ場所で相談ができることが重要だと思います。

子ども課長 産後ケアは平成 30 年度から三浦市立病院と塩崎産婦人科にお願いし、やる方向で考えています。地域で孤立してしまうなどの、いわゆる産後鬱だとかにならないため。隣の横須賀市は始めているので参考にしつつ取り組んでいきます。

市民 三浦市はファミリーサポートセンターは検討したりしていますか。横須賀なんかはあるみたいなんですけど。

子ども課長 ファミリーサポートセンターは子ども子育て支援事業計画で、平成 31 年度に作るようにしていきましょうという計画になっています。これは預かる人達にも研修が必要ですし、いろいろ課題があります。どこが運営するのかなど、細かいことがあるんですが、それを平成 30 年度に考えることになっています。

市民 先ほど産後ケアを平成 30 年度には始めると伺ったんですが、私も子どもを出産する際に病院は横須賀だったんですけど、横須賀は産後ケアの場所があるけど、三浦市の方は利用できないと言われました。三浦市の準備が整うまでに、横須賀市民でも三浦市民でも利用できるようなところがあれば、生まれたときとか妊娠中とかのケアというか、フォローを。例えば一時保育とかも、双子の場合は一人分で良いですとかなると負担が軽くなると思います。

子ども課長 例えば妊婦健診は横須賀市の病院でも受けることができるわけですから、横須賀市との連携の可能性はあると思います。

市民 まだ手探りの状態で始めるのであれば、まずは横須賀市でも使える助成金があれば嬉しい。そこから連携していけばいいのでは。

市長 分かりました。まだ話は尽きないと思いますけど、時間もありますので今日は終

わらせていただきますが、何でも相談はきちんと受けるように指示はしていますので、どんなことでも構いませんから子ども課になんでも相談していただければと思います。

市民 すいません。ちなみにその図書館のオープン予定などはいつ頃なのでしょうか。

市長 引橋の図書館構想については、そんなに近くの話ではないです。今行っている工事場所の、今度はもっと下の工事になりますので、5 年ほどでできればいいと思っていますが、今の市役所がある地域の活用方法が決まらないと地域住民も納得しませんから、簡単にはいかないんです。今の図書館も機能していますから、新着本のご要望なんかは教育委員会に相談していただければいいんですが、子どもに関する相談は子ども課に一本化していますから、子ども課に言っていただければ教育委員会に相談することになっていますので。

今日はありがとうございました。

※ 公表については了承を得ております。